

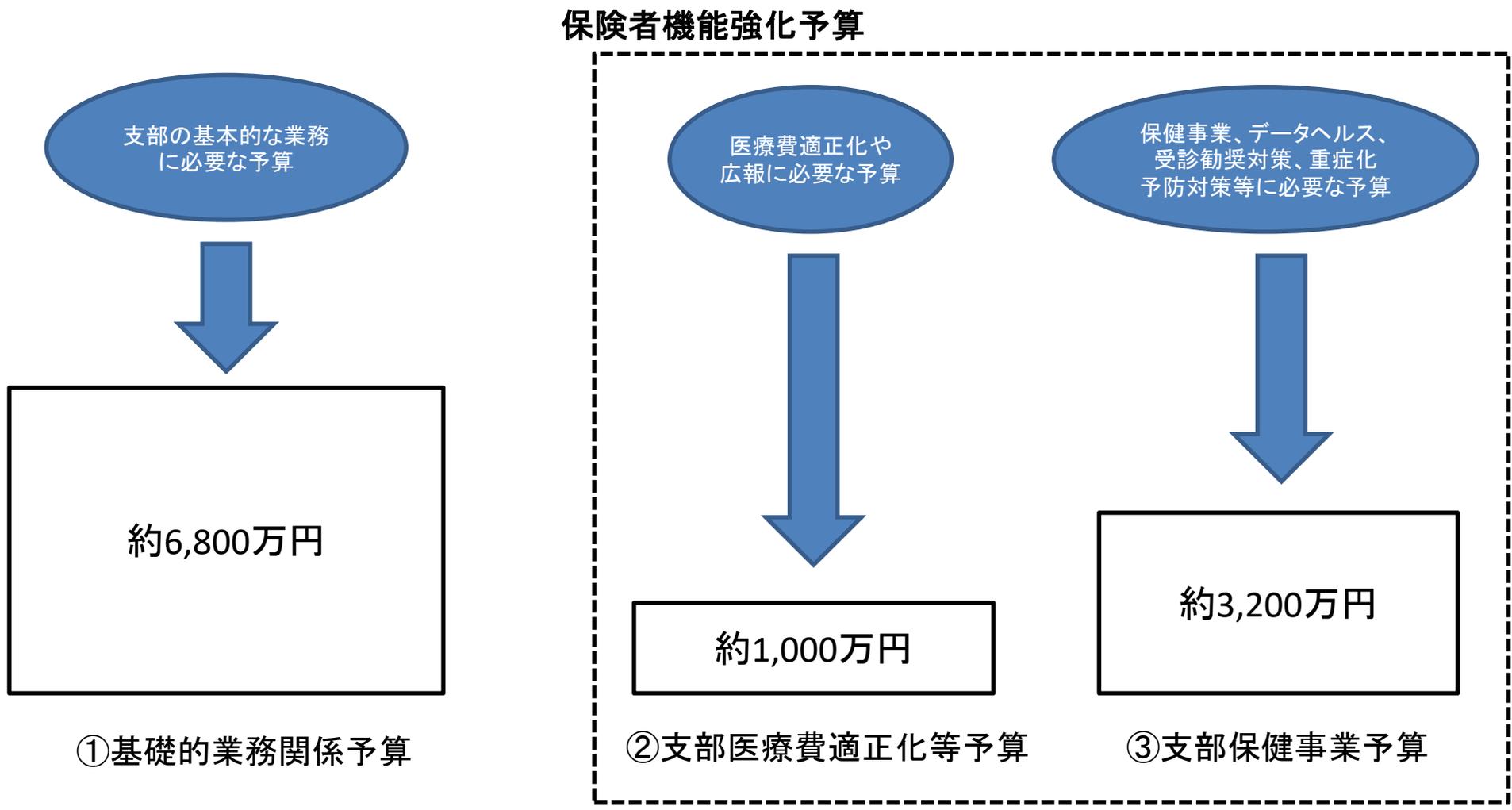
令和2年度 奈良支部 保険者機能強化予算について

1. 令和2年度保険者機能強化予算の本部確認結果について

- ✓ 10月評議会で、令和2年度支部保険者機能強化予算についてご議論いただき、ご承認いただいた予算案を11月に本部提出いたしました。
- ✓ 令和元年12月25日にその確認結果が示され、奈良支部については概ね提出案の通りの整理結果となっております。
- ✓ 本日の評議会では、令和2年度支部保険者機能強化予算について最終確認をしていただき、評議会での確認結果を本部に最終報告します。

2. 奈良支部予算の全体像（イメージ図）

【令和2年度の全体予算：約1億1000万円】



(注) 図中の金額は奈良支部における粗い予算額を記載している。なお、「①基礎的業務関係予算」の額は令和元年度予算と同額を見込んでいるが、変更となる可能性がある。

3. 令和2年度支部保険者機能強化予算（医療費適正化等予算）総括表

≪令和2年度 医療費適正化等予算 10,257,000円≫

（医療費適正化に関するもの）

①	（継続）	市町村及び地区薬剤師会と連携した残薬調整運動の実施	110,000円
②	（継続）	ジェネリック医薬品使用促進を目的としたセミナーの開催	325,000円
小計			435,000円

（広報・意見発信に関するもの）

③	（新規）	ジェネリック医薬品普及促進に向けたSNS広報	660,000円
④	（新規）	ジェネリック医薬品普及促進に向けたバス広告	2,574,000円
⑤	（継続）	地元紙への広告掲載	1,000,000円
⑥	（継続）	チラシ、ポスター、リーフレット、冊子（しおり）等、紙媒体による広報経費	4,631,000円
⑦	—	その他の広報経費	957,000円
小計			9,822,000円

4. 令和2年度保険者機能強化予算〈医療費適正化等予算〉

①(継続)市町村及び地区薬剤師会と連携した残薬調整運動の実施

重複・多剤服用の抑制防止に向けて、市町村と連携して運動を展開

事業の目的

・医療費の適正化に加え、加入者の健康管理の観点から重複多剤服用を抑制防止する

実施概要

・市町村及び地区薬剤師会と連携し、各薬局にポスターを掲示し残薬バックを配布する(令和元年度に引き続き生駒市と連携)

予算

・110,000円(令和元年度予算:11万円)

②(継続)「ジェネリック医薬品普及に向けたセミナー」の開催

ジェネリック医薬品の普及に向け、外部講師によるセミナーを開催

事業の目的

・加入者に対し、ジェネリック医薬品の幅広い普及促進を図る

実施概要

・ジェネリック医薬品について専門的な知見を有する医師または薬剤師によるセミナーを開催する

予算

・325,000円(令和元年度:予算措置なし)※講師謝金、会場費等含む

4. 令和2年度保険者機能強化予算〈医療費適正化等予算〉

③(新規)ジェネリック医薬品普及促進に向けたSNS広報

一般加入者に向けたSNSによる広報を実施

事業の目的

- ・加入者に対し、ジェネリック医薬品の幅広い普及促進を図る

実施概要

- ・Facebook、Instagram等SNSを活用した広告を実施

予算

- ・660,000円(新規事業)

④(新規)ジェネリック医薬品普及促進に向けたバス広報

一般加入者に向けたバス広告による広報を実施

事業の目的

- ・加入者に対し、ジェネリック医薬品の幅広い普及促進を図る

実施概要

- ・奈良交通バスの車体後部ラッピング広告
- ・奈良交通バス車内のデジタルサイネージによる動画広告

予算

- ・2,574,000円(新規事業)

4. 令和2年度保険者機能強化予算〈医療費適正化等予算〉

⑤(継続)地元紙への広告掲載

一般加入者に向けた新聞広告による広報を実施

事業の目的

- ・加入者に対し、ジェネリック医薬品やインセンティブ制度、健診受診促進等について幅広い周知を図る

実施概要

- ・奈良新聞への広告の掲載(年間3回程度を予定)

予算

- ・1,000,000円(令和元年度予算:60万円)

⑥(継続)チラシ、ポスター、リーフレット、冊子(しおり)等、紙媒体による広報経費

加入者・事業主に向けた紙媒体による広報を実施

事業の目的

- ・加入者・事業主にチラシ、ポスター、リーフレット、冊子(しおり)等を通じて医療費適正化に関する広報を実施する

実施概要

- ・総合パンフレット(協会けんぽのしおり)の作成
- ・(新規)かかりつけ医の普及に向けたリーフレットの作成
- ・(新規)健康保険の財政状況の周知に向けたリーフレットの作成
- ・任意継続申請セット、限度額適用認定申請セットの作成
- ・紙媒体による各種広報

予算

- ・4,631,000円(令和元年度予算:273万円)

4. 令和2年度保険者機能強化予算〈医療費適正化等予算〉

⑦その他の広報経費

実施概要

- ・意見発信に向けたアンケートの実施
- ・奈良支部イメージキャラクター「ヘルシカくん」のイラスト作成
- ・近鉄新大宮駅構内看板の設置

予算

・957,000円

5. 令和2年度支部保険者機能強化予算（保健事業予算）総括表

≪令和2年度 保健事業予算 32,657,000円≫

（健診に係る事務経費）

①	（継続）	協会主催の集団健診（被扶養者）	6,266,000円
②	（継続）	生活習慣病予防健診未受診者に対する受診勧奨	2,626,000円
③	（新規）	事業者健診データ取得に係る電話勧奨業務	1,012,000円
④	—	その他の健診に関する経費	1,482,000円
小計			11,386,000円

（保健指導に係る事務経費）

⑤	（継続）	特定保健指導の受診勧奨	660,000円
⑥	—	その他の保健指導に関する経費	2,398,000円
小計			3,058,000円

（重症化予防事業経費・その他保健事業経費）

⑦	（継続）	未治療者受診勧奨	330,000円
⑧	（継続）	重症化予防対策	7,361,000円
⑨	—	その他の経費（アドバイザー経費）	374,000円
小計			8,065,000円

5. 令和2年度支部保険者機能強化予算（保健事業予算）総括表

≪令和2年度 保健事業予算 32,657,000円≫

（コラボヘルス事業）

⑩	（継続）	第5回「職場まるごとチャレンジ」	3,520,000円	
⑪	（継続）	健康経営事例集の作成	1,925,000円	
⑫	（継続）	コラボヘルスのための健康講座	1,650,000円	
⑬	（継続）	健康経営の普及を目的としたセミナー開催	325,000円	
⑭	（継続）	事業所カルテの作成	2,728,000円	
			小計	10,148,000円

6. 令和2年度保険者機能強化予算<保健事業予算>

①(継続)協会主催の集団健診(被扶養者)

協会主催の集団健診をショッピングセンターや公民館等にて実施

事業の目的

- ・被扶養者に特定健診を受診してもらいやすい環境を整備し、受診率向上につなげる

実施概要

- ・ショッピングセンター等での実施により受診者数の増加を見込む
- ・オプション健診の追加(下期)による健診受診者数の増加を見込む

予算

- ・6,266,000円(令和元年度:866万円)

②(継続)生活習慣病予防健診未受診者等に対する受診勧奨

受診率向上のため、事業主及び個人に対し、受診勧奨を実施

事業の目的

- ・年度中の広報により、受診忘れ、次年度の切り替えを促す
- ・事業所から各従業員へ案内がされていないこともあるため、個人に直接ダイレクトメールを送付し受診を促す

実施概要・作成予定数

- ・圧着ハガキによるリーフレットなど、見てもらいやすい工夫を行った案内を事業主や個人に対し行う
- ・送付予定数:特定健診受診券送付時(52,400件)、生活習慣病予防健診案内送付時(17,000件)、個人あて生活習慣病予防健診(51,000件)、事業所あて生活習慣病予防健診(15,000件)

予算

- ・2,626,000円(令和元年度:327万円)

6. 令和2年度保険者機能強化予算＜保健事業予算＞

③(新規)事業者健診データ取得に係る電話勧奨業務

事業者健診データの電話勧奨を実施

事業の目的

- ・事業者健診データまたは同意書の取得を目的とする

実施概要

- ・事業者健診データまたは同意書の提出を依頼するリーフレットを作成し、電話勧奨を実施する

予算

- ・1,012,000円(新規事業)

④その他の健診に関する経費

実施概要

- ・事業者健診HbA1c追加検査費
- ・健診推進に係る経費(健診機関へのインセンティブ) 等

予算

- ・1,482,000円

6. 令和2年度保険者機能強化予算<保健事業予算>

⑤(継続)特定保健指導の受診勧奨

受診率向上のため、事業主に対し特定保健指導の受診勧奨を実施

事業の目的

- ・特定保健指導の受け入れを促すため、事業主に利用を促す広報を実施する

実施概要・作成予定数

- ・圧着ハガキによるリーフレットなど、見てもらいやすい工夫を行った案内を事業主に行う
- ・送付予定数:事業所あて15,000件

予算

- ・660,000円(令和元年度:65万円)

⑥その他の保健指導に関する経費

実施概要

- ・保健指導推進経費(健診機関へのインセンティブ等)
- ・保健指導用パンフレット作成等経費
- ・保健指導用事務用品費(測定機器類等)
- ・保健師募集広告経費 等

予算

- ・2,398,000円

6. 令和2年度保険者機能強化予算<保健事業予算>

⑦(継続)未治療者受診勧奨

未治療者に対し、健診を受診した機関からの受診勧奨を実施

実施概要

- ・二次勧奨対象者に対し、委託により健診機関から医療機関受診を促す通知を送付

予算

- ・330,000円(令和元年度:30万円)

⑧(継続)糖尿病性腎症・COPDの重症化予防対策

重症化予防のため、外部委託による保健指導を実施

事業の目的

- ・糖尿病による腎症等の重症化を予防すること

実施概要

- ・かかりつけ医及び関係機関と連携し、保健指導、COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策として疾病に関する情報提供を実施
- ・奈良市の加入者に対して、奈良市医師会及び奈良市と連携し、外部委託による保健指導及びCOPD対策(禁煙を促す通知)を実施
- ・奈良市以外の加入者については、奈良県及び奈良県医師会と調整しながら、保健指導の実施体制を整える

予算

- ・7,361,000円(令和元年度:443万円)

6. 令和2年度保険者機能強化予算〈保健事業予算〉

⑨その他の経費(アドバイザー経費)

受診状況を地域・業種・年齢・性別・居住地・健診機関所在地等により経年分析を行い、エビデンスに基づいた健診事業を展開

事業の目的

- ・学識経験者の助言に基づいて分析を行い、エビデンスに基づいた保健事業の展開を図り、健診受診率向上を目指す

実施概要

- ・分析結果に基づき、「奈良支部健康づくり推進協議会」にて議論し具体策の企画・立案を行う
- ・具体的な事業の展開及び結果・検証等も同協議会で議論し、事業のPDCAサイクルを図る

奈良支部健康づくり推進協議会: 中期的な観点から支部の保健事業を円滑かつ効果的に推進することを目的に、委員(被保険者代表・事業主代表・健康保険委員代表・保健医療関係者(県医師会副会長、健診機関事務長)・学識経験者(議長・講師)・行政(奈良県医療保険課、国保連合会事務支援センター長))が必要な提言や助言を行う。年2回開催(6・12月)。

予算

- ・374,000円(令和元年度:37万円)

6. 令和2年度保険者機能強化予算〈保健事業予算〉

⑩(継続)「第5回職場まるごと健康チャレンジ」の実施

開始から5年目を迎える「職場まるごと健康チャレンジ」については、所要の見直しを行ったうえで昨年度に引き続き実施

事業の目的

- ・職場の健康づくりを進めることにより、加入者の健康増進を進めること

課題(令和頑年度の反省)

- ・「職場の健康づくりのきっかけづくり」を目的として実施しているが、第1回から毎年参加いただいている事業所からは「選ぶメニューがもうない」という声も聞かれた
- ・職場まるごと健康チャレンジの次のステップとしていただくために、メニュー冊子内に「健康経営優良法人」の案内を掲載し認定申請につなげていただくような構成としたが、「職場の健康づくりのきっかけづくり」と相反し、ハードルが高いように感じたという声の一部の事業所から聞かれた

次年度に向けた見直し

- ・基本的なスキームは第4回と同様とする
- ・第1回から連続して参加いただいている事業所と、初めて参加を検討するような事業所が混在しているため、事業所ごとの健康経営の進み具合により、メニューのレベル分けを行うなどの見直しを行い、初めて参加する事業所でもメニュー選択を行いやすいような構成を工夫する
- ・健康経営が進んでおり健康経営優良法人を目指すような事業所よりも、これから健康経営を始めるような事業所に合わせた構成とする
- ・「職場の健康づくりのきっかけづくり」を主目的とし、分かりやすさを重視し、少しのことからはじめてみようという会社ができる限り増えるように見直しを行う

目標

- ・エントリー700社(令和元年度:707社)

予算

- ・3,520,000円(令和元年度:586万円)

6. 令和2年度保険者機能強化予算<保健事業予算>

⑪(継続)「健康経営事例集」の作成

健康経営優良法人認定企業を掲載した事例集を作成し、県内の健康経営の普及促進に活用

事業の目的

- ・県内の健康経営の普及促進
- ・すでに健康経営に取り組んでいる事業所に対しては、他社事例を参考にすることによる更なる健康経営の推進

作成数量

- ・2,500部
(令和元年度実績:2,500部(①まるごとチャレンジエントリー事業所700部、①以外の健康保険委員1,300部、その他イベント会場等での配布500部))

予算

- ・1,925,000円(令和元年度:150万円)

⑫(継続)コラボヘルスのための健康講座

保健師、管理栄養士を事業所に派遣し、健康講座を実施

事業の目的

- ・職場の健康づくりの推進
- ・健康経営推進の雰囲気醸成

次年度に向けた見直し

- ・職場内で健康講座が実施されることにより、職場の健康づくりが進むだけでなく、健康経営推進の雰囲気醸成にも寄与する効果が高い事業であると考えているため、令和2年度は拡大しての実施を予定(予定数年間25社)

予算

- ・1,650,000円(令和元年度:100万円)

6. 令和2年度保険者機能強化予算〈保健事業予算〉

⑬(継続)健康経営普及に向けたセミナーの開催

健康経営の普及に向け、外部講師によるセミナーを開催

事業の目的

- ・県内の健康経営の普及促進

実施概要

- ・健康経営の専門講師によるセミナーを開催。

予算

- ・320,000円(令和元年度:10万円)※講師謝金、会場費等含む

⑭(継続)事業所カルテの作成

各事業所ごとの健康課題を見える化した事業所カルテを作成し配布

事業の目的

- ・職場の健康づくりの推進のための現状把握
- ・健康経営に取り組んでいない事業所に対し普及を促すこと

次年度に向けた見直し

- ・令和元年度は内製により作成したが、他支部事例を参考にアウトソースにより作成予定

予定数

- ・健診データが10名以上の事業所約1,150社(令和元年度送付:300社)

予算

- ・2,728,000円(令和元年度:内製のため費用負担なし)